

2023年1月11日

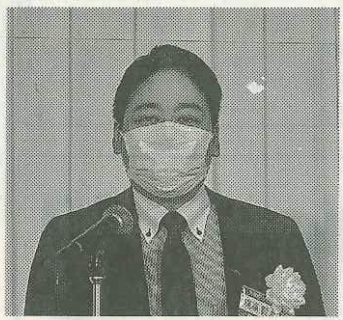
日刊建設工業新聞

(福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・鹿児島・沖縄会場)

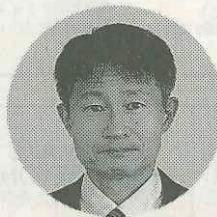
アルオープンをしました。今後もより楽しく快適にご利用いただける休憩施設を目指して、店舗などのリニューアルに取り組みしております。地域創生に繋げる地域共創活動にも取り組んでいます。

高速道路は単一車線ではなく、地域活性化を促すツールの一つとして、新しい価値を地域の活性化に創ってまいります。

努力と熱量で資格取得
総合資格学院天神校
小倉校、合格祝賀会



総合資格学院（岸和子学
院長）の天神校と小倉校は
9日、福岡市中央区のソラ
リア西鉄ホテル福岡で20
22年度の修了式・合格祝



から長崎県長崎市に至る延長約67kmの路線で、1973年11月の整備計画決定から約半世紀の時を経て昨年9月23日に開業しました。建設主体である当機構で

末永く愛される鉄道に

鉄道建設・運輸施設整備支援機構
九州新幹線建設局長 瓜生 良知

間でもフル規格による工事実施計画の認可を受け、多くの方々の期待にこたえるべく、今まで培ってきた技術力を結集し、工事を行ってまいりました。感謝申し上げます。

賀会を開いた。1級建築士と2級建築士の試験に合格した学院生や講師、来賓らが多数出席し、難関突破の喜びを分かち合った。

開会あいさつで天神校の梶原賢大校長「写真」は「それぞれの努力と熱量で合格を勝ち取ったと思う」と述べた上で、建築士としてこれから迎える試験にも「しんどい中で試験に臨んだ努力を思い出せば、きっと乗り越えられるだろう」と激励した。

福岡県建築士会の碓好生専務理事は「建築士は建築の質の向上という責務を果

たしていかねばならぬ」とし、資格取得後も常に学習と研さんを重ねる必要性を強調。天神校の國武聖講師は「仕事を楽しみ、お客さんを楽しませて建築を作っていくってほしい」とエールを送った。

福岡県建築士事務所協会の岩本茂美会長は「もっともっと勉強して建築士として世の中に貢献してほしい」と述べた上で乾杯の発声を行った。

祝賀会途中で合格者代表3人に修了証が授与され、岩崎秀昭さん（1級建築士合格）は家族や会社のサポート

ートに感謝、中西風斗さん（同）は今後建築士としての努力を約束、稲永美咲さん（2級建築士合格）は「自分の可能性を広げるために1級建築士を目指すことにした」と新たな決意を語った。

同日は、九州・沖縄エリアで学院のある7県（9校）で祝賀会を同時開催。エリア内の受講生合格者占有率は1級が54・6%（136人）、2級が47%（270人）となった。

学院では、合格者が各地の建築士会に入会する際、入会金などを負担する。

この西九州新幹線の開業と沿線地域の取り組みが、九州地域全体、ひいては日本全体に相乗効果をもたらす。利用者や沿線の方々にも末永く愛される鉄道として、地域における発展に寄与することを願っております。